

台風23号から一年をむかえて

(三)年(乙)組(十一)番
氏名(高田智紀)

台風メモリアルアルデーという事で校長先生の話しや、被害にあった方の作文も聞いて、一年前の出来事が思い出されました。作文にもあったように、まず、思ったことは僕も「幸せな生活をしていたのだな」ということででした。友人から家に帰って家の光景を見てびっくりしました。そして、普段の生活はできなくなり2階での生活になりました。買い物も、できず、家の家具も使えなく、大変で不便な生活でした。そのような状態の中、励まされたのが岡本さんと同じように、親せきの人や親の友人です。

頼んでもいないのに手伝いに来てくれ、ご飯も家具も用意してくれました。僕はこの時、本当に人の思いやりを感じました。そして、自分も何かあったときは助けに行こうとおねに刻みしました。を求めること

最近九州で台風がありました。募金が学校から手紙できたけど、家族一斉で「する」ということで募金をしました。九州の映像を見て「九州の人たちも、今僕たちの時と同じ状況で同じ気持ちなのだろうな」と思っていました。このようなことを思えば募金をしようと思っただのは被害があったからだと思います。だから、被害のことを忘れずにたとえ自分の身におきることでもなく、しっかりと考え、ボランティアなどに

尽くしたいなと思っていました。そして、今、生活できて

いることを幸せと思いつつながら生活しています。